

むらさきそら

9月号

(住所) 西東京市南町 6-9-37

(電話) 042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <http://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi/>

二学期スタート

校長 山本一幸

始業式も放送でした。1学期は、やっと始まった、2学期は、もう始まったと感じているのではないのでしょうか。例年の半分だけの夏休みでしたが、ほぼ毎日が猛暑の中、心と身体を休めることができましたでしょうか。今年の2学期はまるまる4ヶ月になります。常に全力疾走ではもちません。4分割または3分割して目標を決め、着実に達成できるように地道に努力を続け、節目ごとに成果を確かめ、次の目標を決めましょう。

毎年9月1日は防災の日。避難所になる(実際昨年避難所になった)体育館の屋根の修理がようやく終わりました。ただでさえ狭い校庭をふさいでいた足場と体育館を覆っていたシートがなくなり、雨の日の体育や部活で使われていたピロティも使えるようになりました。猛暑の中、工事してくださった方々には本当に感謝です。次は図書館の雨漏りの工事になります。施設の修繕には時間がかかりますが、災害への一番の備えは私たち一人一人の心構えになります。猛暑、大雨、地震、そして感染症に対しても「今までは大丈夫」が通用しないことを肝に銘じて様々な準備や行動を考え直しましょう。

9月8日に、秋の新人戦が実施される事が決まり、これまで中止していた土日の部活動を再開することとなりました。活動時間の短縮や消毒、競技によっては試合も無観客・応援なしなど、こまれで通りとはいきませんし、自分だけでなく家族が発熱していたら登校を自重するなど、コロナ禍での生活はまだ続きます。

☆ 生徒の様子 ☆

第2学年<スマホ携帯安全教室>

「スマホ・ケータイ安全(情報モラル)教室」を今年度は2年生の各クラスで総合の時間で視聴しました。現在の日本では、スマートフォンを含む携帯電話の普及率は相当なものになっています。使用するメリットは大きいですが、使用する際には、相手を思いやった文面が必要ですし、情報発信には十分配慮する必要があります。今回は、DVDで3つの場面を視聴し、それぞれ何が問題であったのか、どうすればよかったのかを意見交換し、学んだことをワークシートに記述しました。トラブルや犯罪を起こさないために、そして巻き込まれないためにはどうしたらよいかを真剣に考え、記述することができていました。



LINE等のSNSやメール、掲示板等にかかわる電子情報機器(スマートフォン等)によるトラブルは本校でもたびたび報告されております。情報機器による使い方をお子様とよく相談され、約束を決めたうえで正しい利用につながるご指導をいただくと学校としても助かります。どうかよろしくお願ひします。

第1学年「横浜校外学習に向けて」

1年生では10月30日に横浜校外学習を予定しています。今回の校外学習では企業訪問をし、SDGsについて学ぶことを目的にしています。SDGsとは、国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標」のことで、2030年までに環境問題の解決や社会の中の差別や暴力、不平等をなくすことなど、全部で17個の目標が掲げられています。また地球上の「誰一人取り残さないこと(leave no one behind)」を誓っています。最近では日本でも、積極的に取り組んでいる企業も増えてきました。

先日、全体オリエンテーションでこの話をした後、学年で何人かの生徒が自主的にSDGsについて調べてきたり、新聞記事を切り抜いて持ってきてくれたりしました。生徒達にとっても、「他人事ではなく自分たちの問題なのだ」という意識が芽生えているのだと思います。

現在、私たちが暮らしている世界は簡単に解決できない多く課題を抱えています。その一方で、問題の解決に向けて社会の中で頑張っている大人も大勢います。今回の校外学習を通し、実際に社会



社会で働いている大人がどのような想いで、どんな取り組みをしているのかを学んできてほしいと思います。そしてそんな社会人の先輩からのバトンを受け継ぎ、「世界のために何ができるか?」、「社会にどう貢献していけるか?」を生徒達と一緒に考えていきたいです。

第3学年総合「SDGs」



第3学年でも1年生と同様に、これからの総合的な学習の時間を通じて、SDGsについて学び、社会課題についての理解を深めていきます。ただ学んで終わるのではなく、学んだことに対して、自分の考えや調べたことを周囲に分かりやすく伝える力を身につけていきます。

まず、9月7日1時間目のオリエンテーションで、生徒はSDGsの概要や発表方法などを学びました。1年後の社会の主役となる生徒の学習姿勢に期待するとともに、われわれ教員もSDGsについて生徒と一緒に学び、社会課題に関心を持っていきたいと思っています。



「感謝を伝えるプロジェクト」

休校明けの6月、久々の学校に胸を躍らせながら登校する中で直面したのが様々な行事の中止。思うような学校生活を送れない中で、生徒会役員が「この状況だからこそ自分たちにできることをしたい!」と、コロナ禍でも私たちの生活を支えてくださっている地域の方々へ「感謝を伝えるプロジェクト」を行いました。



生徒会役員が看護師さんにインタビューしたりコロナ対策を調べたりして作成した生徒会便りを配布し、全校でメッセージカードを作成した後、有志で模造紙に貼り付け、生徒会役員が各事業所へ届け、感謝の気持ちを伝えました。



これからも「手洗い・マスク・思いやり～みんなで守ってコロナ対策～」をスローガンに学校生活を送っていきます。

